
日本経済展望

2016年12月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆見通し	
経済	p. 8
物価、金融政策、金利	p. 9
◆内外市場データ	p. 10

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

●総括	下田 裕介	(Tel: 03-6833-0914	Mail: shimoda.yusuke@jri.co.jp)
●家計部門、雇用賃金	小方 尚子	(Tel: 03-6833-0478	Mail: ogata.naoko@jri.co.jp)
●ファンダメンタルズ	村瀬 拓人	(Tel: 03-6833-6096	Mail: murase.takuto@jri.co.jp)
●企業部門、外需	菊地 秀朗	(Tel: 03-6833-6228	Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp)
●ファンダメンタルズ（現状分析）	伊藤 綾香	(Tel: 03-6833-6967	Mail: ito.tp24777@jri.co.jp)

◆本資料は2016年12月2日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

概況：景気は緩やかに持ち直すも、一部で力強さを欠く動き

現状

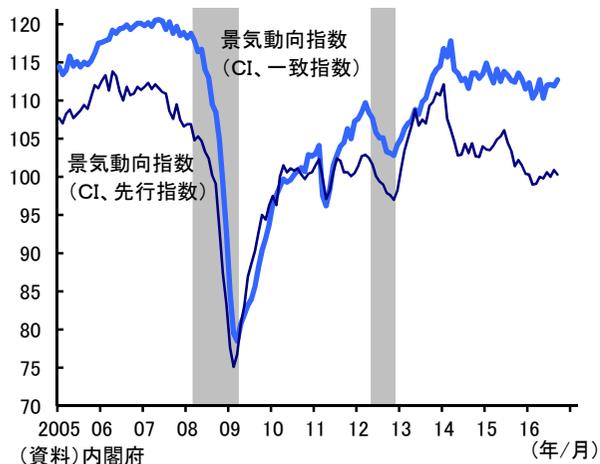
景気分析

見通し

景気

生産財や消費財などの出荷増を受け、一致指数は5ヵ月ぶりの水準まで上昇

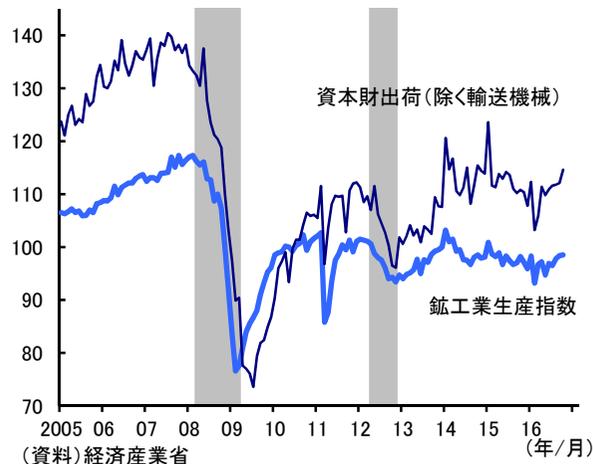
(2010年=100)



企業

生産は持ち直しの動きが持続
出荷は自動車など幅広い業種で増加

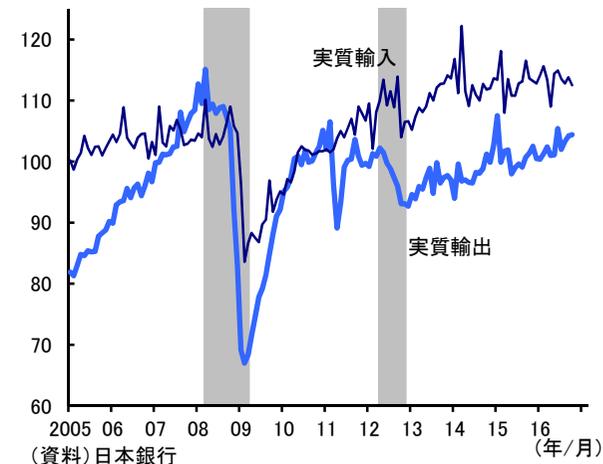
(2010年=100)



外需

輸出は電子部品など情報関連が増加
輸入は内需の伸び悩みを受け一進一退

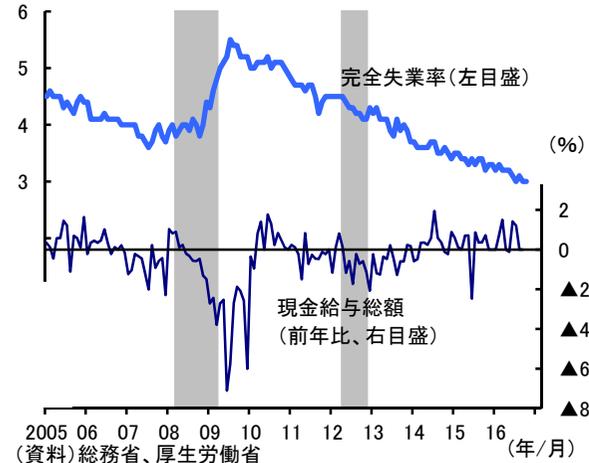
(2010年=100)



雇用所得

失業率は低水準で推移
名目賃金は所定内給与のプラスが持続

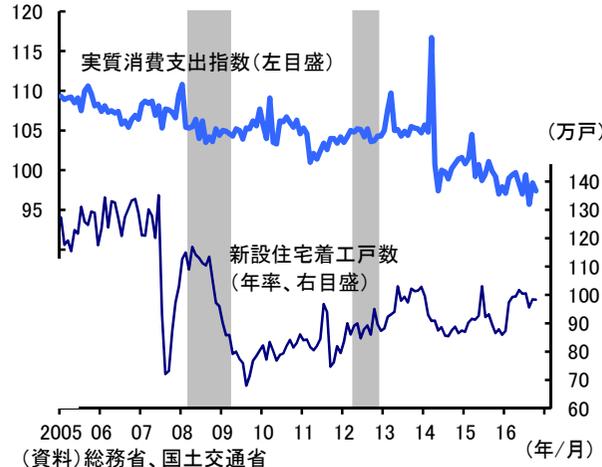
(%)



家計

消費は食品高騰で買い控えの動き
住宅着工は貸家の増勢が持続

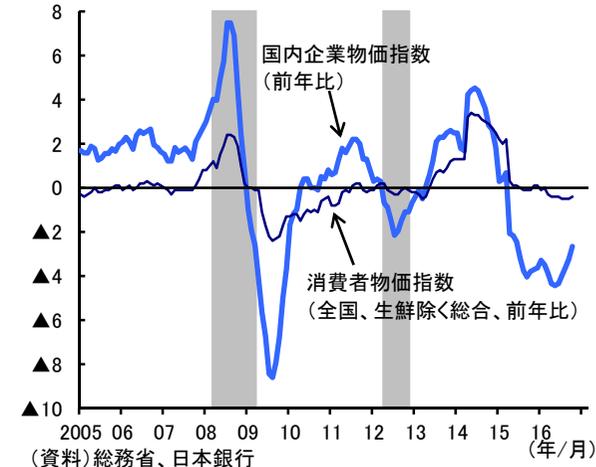
(2015年=100)



物価

企業物価はマイナス幅が縮小傾向
消費者物価は前年割れが持続

(%)



※シャドー一部は景気後退期

生産や出荷などが持ち直す一方、家計部門は一進一退

◆景気は緩やかに持ち直し

わが国景気は、緩やかに持ち直し。7～9月期の実質GDP（1次速報値）は、前期比年率+2.2%と3四半期連続のプラス成長。需要項目別にみると、輸出の増加が押し上げに寄与。直近10月の実質輸出も、EU向けは減少したものの、米国や中国向けが増加したため、総じて増勢が続いていると判断。設備投資も、宿泊施設や大都市圏の再開発など建設投資の増加を背景に、小幅ながら3四半期ぶりに増加。

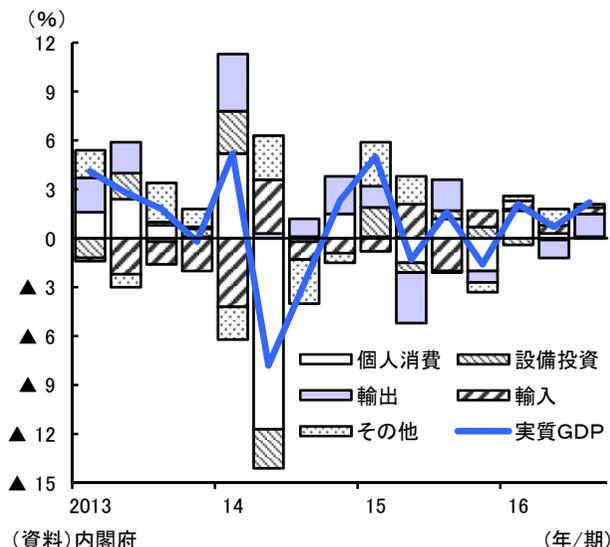
◆企業の生産活動は持ち直し

こうしたなか、企業の生産活動は持ち直しが持続。10月の鉱工業生産指数は小幅ながら3ヵ月連続の上昇。業種別では、スマートフォン向け部品生産が増加した電子部品・デバイスや自動車をはじめとする輸送機械がプラス。予測指数によると、出荷の増加を受けて在庫調整が進展するなか、増産の動きが続く見込み。

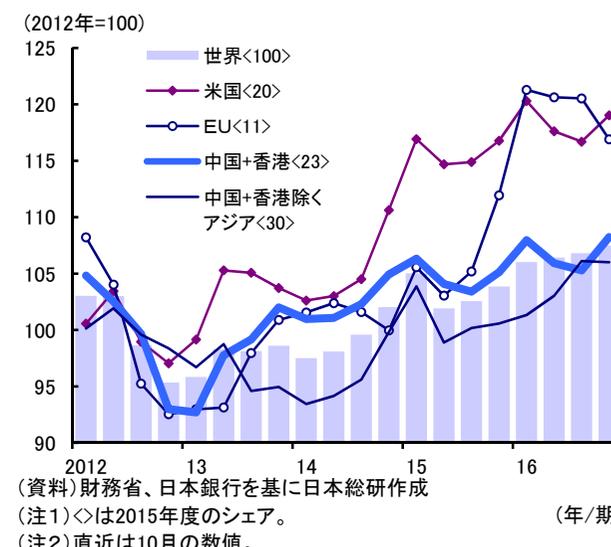
◆家計部門は一進一退の動き

一方、家計部門では、消費者マインドの改善に限られるなか、個人消費は消費増税後に落ち込んで以降、一進一退の動き。実質消費支出は、天候不順により生鮮食品が高騰したため買い控えが起こり、食料への支出などが減少。

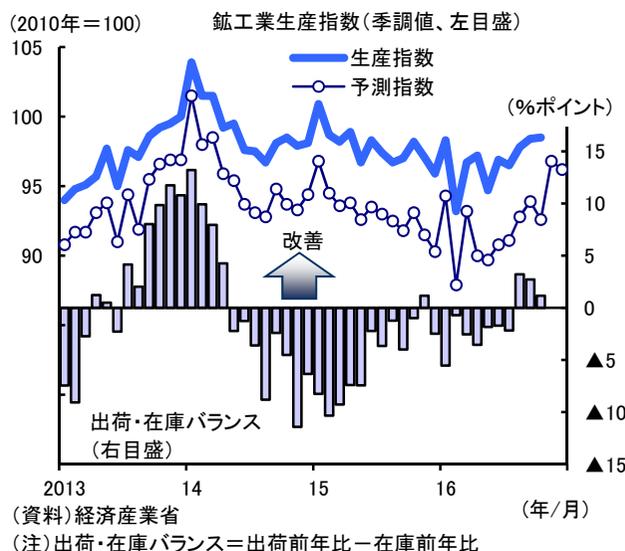
実質GDP成長率(前期比年率)



実質輸出(季調値)



鉱工業生産指数と出荷・在庫バランス



実質消費支出とマインド



インバウンド需要が頭打ち、外需環境には厳しさ

◆インバウンド需要が頭打ち

外需動向をみると、まず、インバウンド需要が頭打ち。円高の進行を受け、訪日客数は2ケタの伸びを維持するものの増勢が鈍化し、一人当たり消費額は大幅減。アジア新興国の所得拡大が今後も続くと見込まれ、インバウンド需要は高水準を維持すると期待されるも、「モノからサービスへ」といった消費行動の変化に対応し、幅広い需要を取り込む施策が重要に。

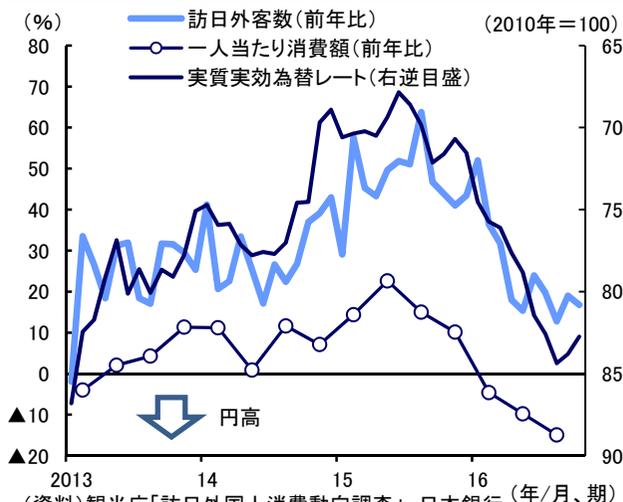
◆当面、財輸出の持ち直しは緩慢

財輸出では、非耐久消費財が堅調。中国・アジア新興国の所得拡大や、既往のインバウンド需要拡大を背景としたブランド認知度の高まりによる、わが国消費財への需要拡大を示唆。

一方、主力の資本財は、アジア向けを中心にやや持ち直し。米国トランプ新政権の積極的な財政政策で、同国景気が拡大し、設備投資が持ち直せば、米国向けの資本財輸出の増加につながる可能性。

もともと、製造拠点の海外移管の進展に伴い、海外需要の増加には海外生産で対応するケースが拡大。円安が進んだものの、先行き財輸出の持ち直しペースは緩慢にとどまる見通し。

訪日外国人旅行消費額と実質実効為替レート



(資料)観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本銀行 (年/月、期)

(注)訪日外客数と実質実効為替レートの直近は10月値。

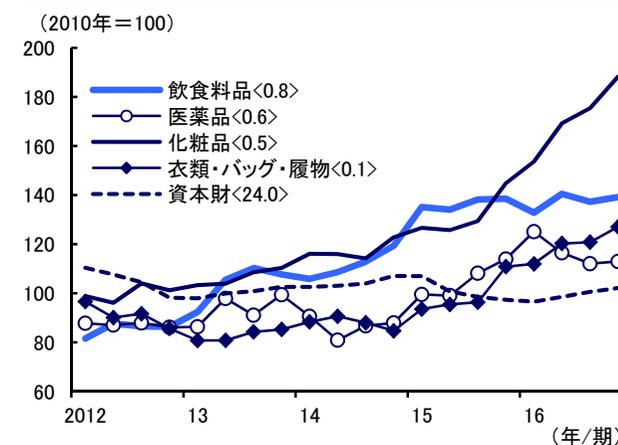
米国資本財受注と実質輸出(前年比)



(資料)米商務省、財務省、日本銀行を基に日本総研作成。

(注)それぞれ後方3ヵ月移動平均。

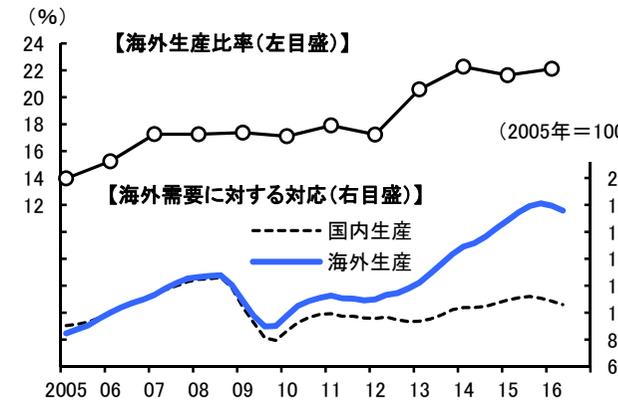
非耐久消費財・資本財実質輸出



(資料)財務省「貿易統計」、日本銀行「企業物価指数」等を元に日本総研作成

(注)凡例<>内は2015年名目輸出額に占めるシェア。直近は10月単月値。

海外生産比率と海外需要への対応



(資料)内閣府、経済産業省、財務省を基に日本総研作成 (年/期)

(注1)海外生産比率は、年度調査の計数を年度末に図示。

(注2)海外需要に対する対応は、国内生産が名目財輸出、海外生産が海外現地法人の売上高(除く日本向け)。両計数ともに後方4期移動平均。

企業収益・設備投資には底堅さ

◆企業収益には底堅さ

企業部門についてみると、7～9月期の法人企業統計では、前期比で7四半期ぶりとなる増収増益。売上高は、輸出の持ち直しや住宅投資の増加を背景に底打ち。一方、経常利益は、一部特殊要因があったものの、人件費の伸び抑制や、輸入原材料価格の下落を受けた変動費の抑制などを背景に、2四半期連続の増加。内需が依然脆弱ななか、売上高の力強い伸びは期待しにくいものの、企業の経営体質は良好さを維持しており、企業収益は当面高水準で推移がする見込み。

◆雇用所得・設備投資の腰折れは回避

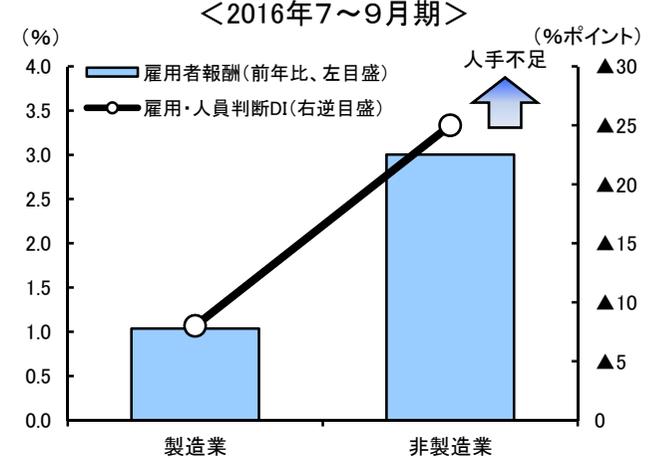
企業にとって、人手不足感は依然として強く、非製造業を中心に雇用所得環境は改善が続く見込み。

設備投資については、企業の成長期待が高まらないなか、能力増強投資は伸び悩む見込み。もっとも、設備の老朽化などを背景に、維持・更新投資を進める企業は多く、これが下支えとして作用。加えて、人手不足に伴う合理化・省力化投資、インバウンド関連産業の設備投資もプラスに作用。こうした需要が下支えすることで、設備投資の腰折れは回避される見通し。

法人企業の売上高と経常利益率(季調値)

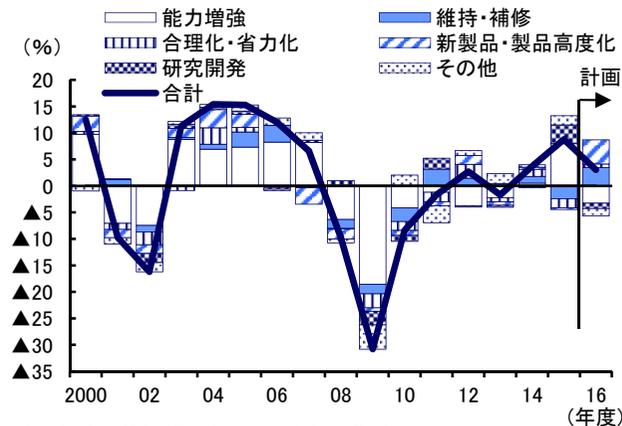


雇用者報酬増加率と人手不足感

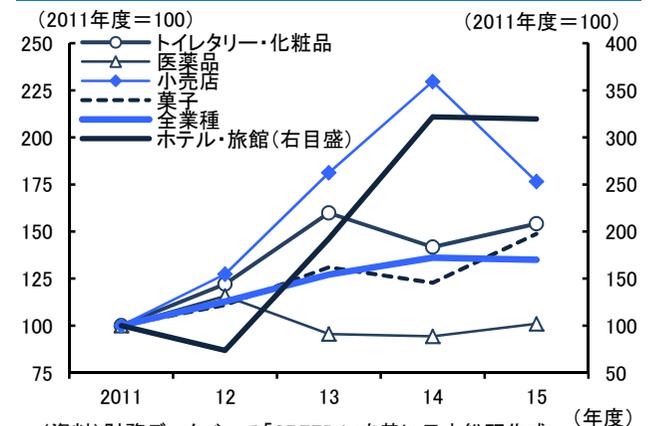


目的別設備投資額

(大企業・製造業、前年度比)



インバウンド関連産業の設備投資



可処分所得の伸び悩みが消費を抑制

◆個人消費は低迷が長期化

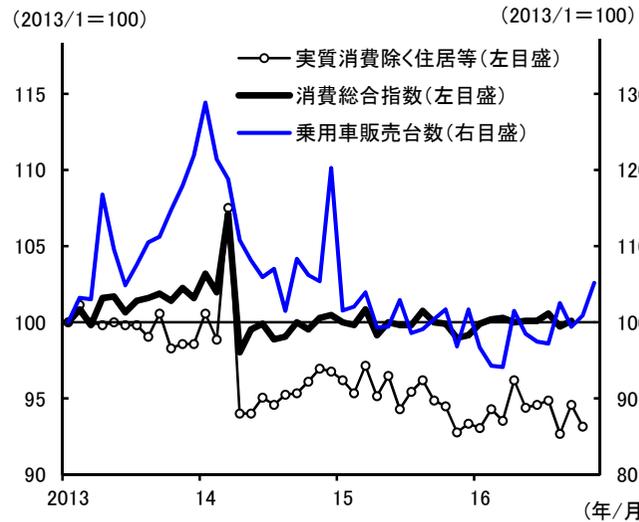
消費は低空飛行が持続。夏場以降、天候要因が下押しに作用したほか、購入支援策や消費増税前の駆け込みによる需要先食いに伴う耐久消費財の買い控えが持続。非耐久財では、消費増税前後から新製品投入で売り上げ確保を図る動きが奏功してきたものの、今春以降、この効果が薄れる動き。

こうした循環的・一時的要因に加え、社会保険料等の増加に伴う可処分所得の伸び悩みが構造要因として消費抑制に作用。将来の負担増に対する生活防衛意識の高まりも消費を下押ししている可能性。特に将来不安が強い若年層で消費性向の低下傾向が鮮明に。

◆引き続き緩やかな消費回復

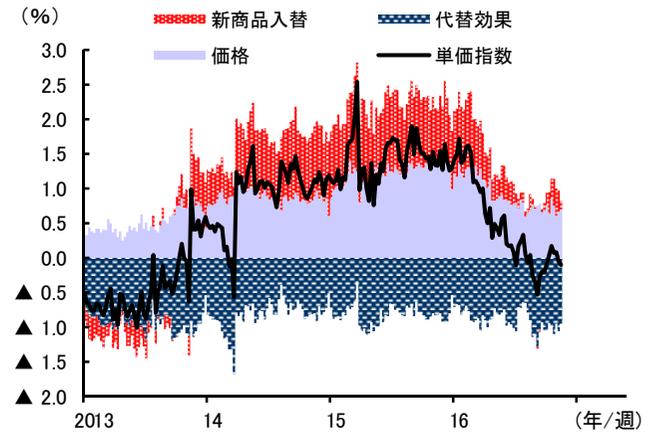
先行きを展望すると、人手不足を背景とする雇用環境の改善がプラスに作用する見込み。もっとも、賃金の上昇加速は期待薄。昨年来の円高が足許の企業収益の悪化を招くなか、今年末の賞与や今春闘の賃金上昇率を前年並みに抑える企業が増える見込み。さらに、団塊ジュニア世代が40歳代に入るなか、管理職ポストの不足が賃金上昇ペースの抑制に作用するという人口動態面からの下押し圧力も。このため、雇用者報酬の伸びは緩やかにとどまるうえ、社会保険料負担等の増加や、自営業主等の減少が可処分所得の下押しに作用。所得改善ペースが加速しないなか、引き続き個人消費は緩やかな増加にとどまる見込み。

消費指標



(資料)内閣府、総務省、自販連

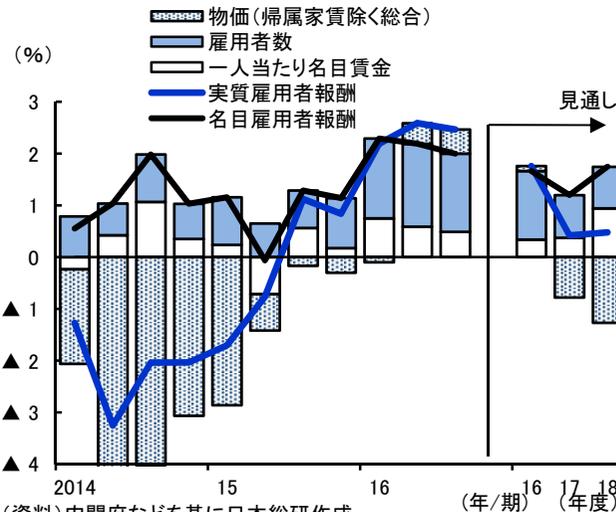
消費者購買単価指数(前年比)



(資料)一橋大学消費者購買単価指数

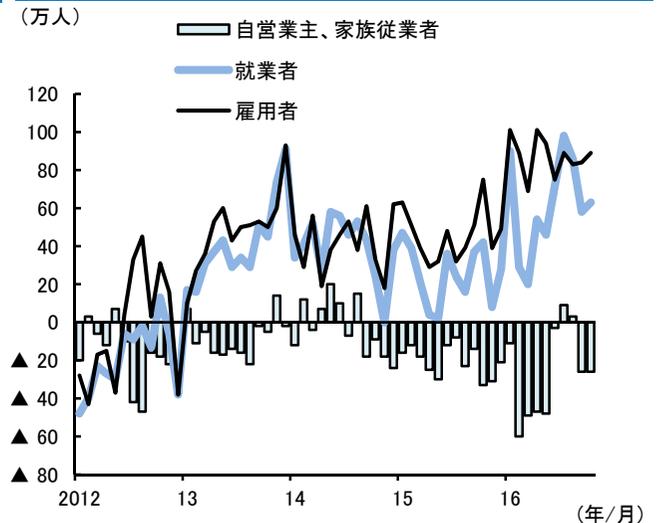
(注)価格は継続商品の価格変化(物価変動に相当)、代替効果は継続商品内で割安商品の販売が伸びる効果。新商品は、継続商品より高い新商品導入と低い商品の消滅の影響。

雇用者報酬(前年比)



(資料)内閣府などを基に日本総研作成

就業者数(前年差)



(資料)総務省

経済対策による17年度の成長率押し上げは+0.3%ポイント

◆公共投資中心の経済対策

政府は、8月2日に事業規模28兆円超の経済対策を閣議決定。11月には、財源の裏付けとなる2016年度第2次補正予算が成立。内訳をみると、「21世紀型のインフラ整備」や「熊本地震・東日本大震災の復興、防災強化」などの金額が大きいことから、公共投資の増加が景気を一定程度押し上げると期待。

◆景気押し上げ効果には不透明な面も

もともと、今回の経済対策は、大幅な景気押し上げにつながらない可能性。まず、対策に含まれる家計支援策については規模が小さく、将来不安の強まりが個人消費の下押しに作用するなか、消費押し上げ効果は限定的となる公算。一方、ウェイトの大きい公共事業については、都心部の再開発といった民間の投資案件の増加を背景に建設労働者の不足感が根強いなか、進捗が遅れる恐れ。

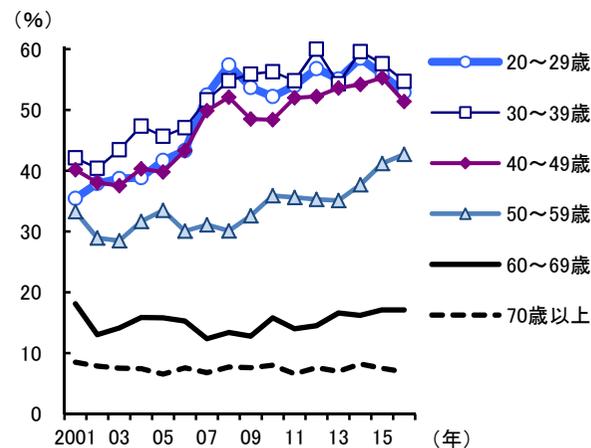
こうした点を踏まえ、経済対策による景気押し上げ効果を試算すると、2016年度、2017年度の成長率をそれぞれ、+0.1%ポイント、+0.3%ポイント押し上げる見込み。

8月2日に閣議決定された経済対策の概要

一億総活躍社会の実現の加速(事業規模:3.5兆円)	
保育・介護の受け皿整備、保育・介護士の処遇改善 雇用保険料の時限的な引き下げ 簡素な給付措置(低所得者向けの現金給付)	うち国・地方の 財政支出 (2.5兆円)
21世紀型のインフラ整備(事業規模:10.7兆円)	
観光インフラの整備(港湾や空港機能の強化) 農林水産物の輸出基地・輸出対応型施設の整備 リニア中央新幹線・整備新幹線の整備加速	うち国・地方の 財政支出 (1.7兆円)
英国のEU離脱に伴うリスクへの対応(事業規模:10.9兆円)	
中小企業・小規模事業者の資金繰り支援 地方創生推進交付金の創設	うち国・地方の 財政支出 (0.6兆円)
熊本地震・東日本大震災の復興、防災強化 (事業規模:3.0兆円)	
熊本地震・東日本大震災からの復旧・復興 公共インフラなどの耐震化・老朽化対策	うち国・地方の 財政支出 (2.7兆円)

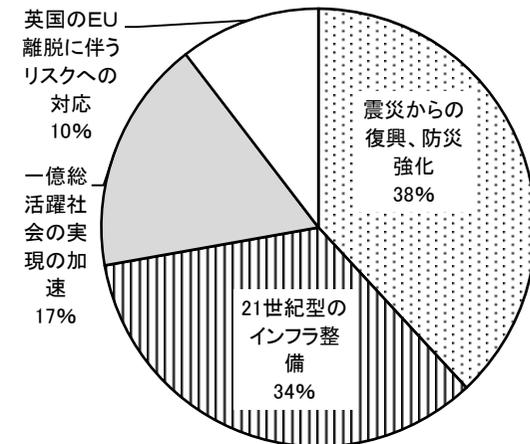
(資料)内閣府を基に日本総研作成

今後の生活の力点として「貯蓄や投資など将来に備える」と答えた割合



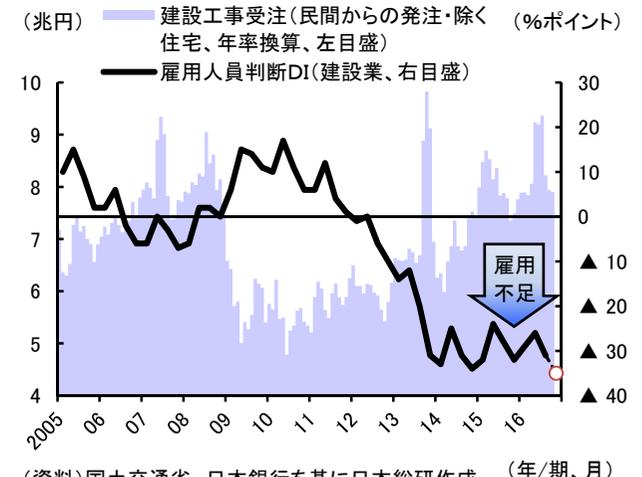
(資料)内閣府「国民生活に関する世論調査」
(注)2016年の20~29歳は、18~29歳に調査対象が変更。

2016年度第2次補正予算の歳出シェア



(資料)財務省を基に日本総研作成
(注)既定予算の減額を除く4.1兆円に占めるシェア。

建設業の人手不足と民間からの建設工事受注



(資料)国土交通省、日本銀行を基に日本総研作成
(注1)雇用人員判断DIの直近は、2016年9月調査の先行き。
(注2)建設工事受注は、後方3ヵ月移動平均。

米新政権の政策はわが国経済にプラス効果も、リスク要因も

現状

景気分析

見通し

◆積極財政で米国景気は浮揚

11月8日の米大統領選の結果、2017年初にトランプ新政権が発足。現時点で政策運営能力は不透明ながら、議会共和党に配慮し、公約よりも規模は縮小しつつも、減税策やインフラ投資が実施されることで、米国経済の成長ペースは2017年後半から加速の見込み。また、極端に保護主義的な姿勢を控え、ドル高も緩やかであれば容認すると想定。この結果、わが国でも輸出増や株高などを通じたプラス影響が期待可能。

もともと、わが国企業の米国での現地生産が拡大していること、米国に比べて株高による資産効果が小さいこと、などを勘案すれば、景気押し上げ効果は限定的にとどまる見通し。

◆政策運営次第では大きなリスク

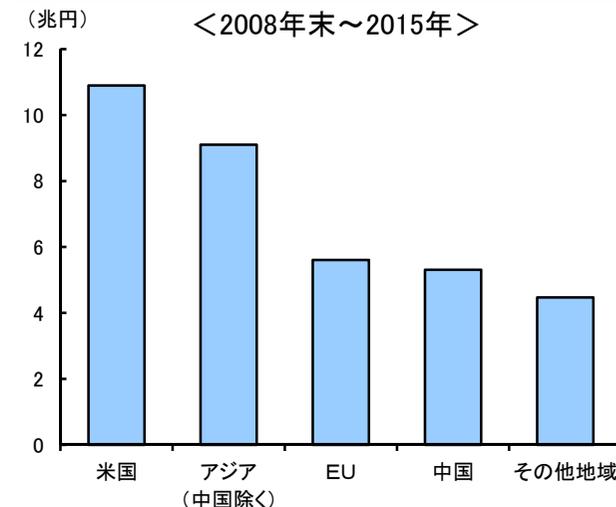
さらに、トランプ新政権が、選挙戦で示した保護主義的な貿易政策やドル安志向を強く打ち出す可能性も否定できず。この場合、大幅な円高が進行し、輸出や企業収益の減少を通じ、わが国景気にもマイナス影響。

トランプ氏が掲げる主な経済政策

	政策内容
法人税	・法人税率を35%から15%に引き下げ ・海外利益の米国内に還流時の課税は10%
所得税	・税率区分を7から3に簡素化、全区分で減税 ・育児や介護費用を税額控除
インフラ投資	・10年で1兆ドル
金融	・ドッド=フランク法全廃
環境	・パリ協定脱退 ・環境規制撤廃 ・キーストーンパイプライン建設を承認
医療	・オバマケア廃止
貿易	・TPP反対 ・NAFTA再交渉
為替	・中国を為替操作国に認定

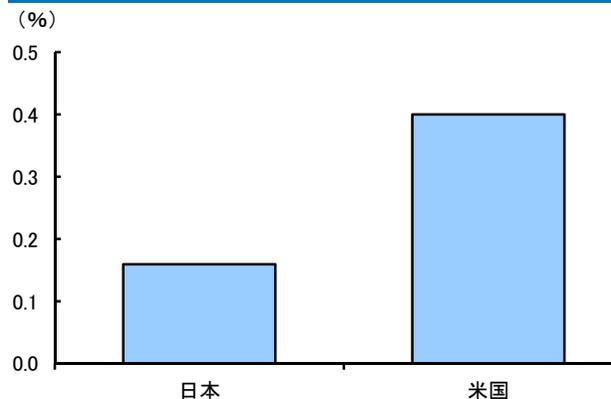
(資料)各種報道を基に日本総研作成

製造業の直接投資残高の増加幅



(資料)日本銀行「国際収支統計」

10%の株高による消費押し上げ効果



(資料)内閣府、BEAなどを基に日本総研作成

(注1)日本は、雇用者報酬、日経平均株価、高齢化比率を説明変数とした消費関数を推計。

(注2)米国は、可処分所得、NYダウ、住宅価格などを説明変数とした消費関数を推計。

10円/ドルの円高の2017年度企業収益への影響

	輸出を通過した影響	海外からの受取収益を通過した影響	合計 (億円)	増減率 (%)
合計	10,736	▲ 23,179	▲ 12,444	▲ 1.8
製造業	7,356	▲ 19,184	▲ 11,828	▲ 5.7
素材業種	7,707	▲ 2,990	4,717	7.6
加工業種	▲ 350	▲ 16,194	▲ 16,545	▲ 11.4
非製造業	3,379	▲ 3,995	▲ 616	▲ 0.1
電気・ガス	2,600	▲ 13	2,587	60.4
その他	779	▲ 3,982	▲ 3,203	▲ 0.7

(資料)財務省、総務省などを基に日本総研作成

(注1)マクロモデル・シミュレーションの結果などを基に試算。

(注2)為替レートが輸出数量に与える影響が、近年低下していることを加味。

官公需の下支えのもと、緩やかな景気回復基調が続く公算

◆年率1%前後のプラス成長に

当面は、一部業種での在庫調整圧力の持続が景気下押しに作用。もっとも、①都心部での再開発や宿泊施設など非製造業の建設投資や、②人手不足などを背景とした雇用所得環境の改善、が景気下支えに作用。2017年入り後は、経済対策に伴う公共投資の増加もプラスに作用するため、景気回復基調が続く見込み。

もっとも、企業部門では、国内の過剰設備を背景に、製造業の設備投資に弾みがつき難い状況。家計部門でも、社会保険料負担の増加や、若年層を中心とした将来不安の強まりなどが消費下押しに作用する見込み。結果として、2016年度、2017年度の成長率は、+1%程度の緩やかな成長ペースが続く見通し。

2018年度は、経済対策の押し上げ効果が一巡するものの、政府は景気失速を回避するため、新たな経済対策を策定する見込み。米国を中心とした海外経済の成長ペースの加速も輸出の下支えに作用することで、+1%程度の成長ペースを維持する公算。

わが国主要経済指標の予測値(2016年12月2日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2017年						2018年				2019年	2015年度			
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	(実績)	(予測)										(実績)	(予測)		
実質GDP	2.2	0.5	0.8	1.1	1.0	0.7	0.8	1.0	1.1	1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	1.0
個人消費	0.2	0.6	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	▲0.1	0.5	0.5	0.6
住宅投資	9.6	3.1	▲3.6	▲3.9	▲3.2	▲2.6	▲1.2	0.1	0.8	1.5	0.2	2.4	7.0	▲1.8	▲0.4
設備投資	0.1	2.0	2.2	2.3	2.3	2.3	2.4	2.5	2.6	2.6	2.6	2.1	0.5	2.1	2.5
在庫投資 (寄与度)	(▲0.3)	(▲0.3)	(▲0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(▲0.2)	(▲0.1)	(0.0)
政府消費	1.7	0.6	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.6	1.1	0.9	1.0
公共投資	▲2.7	▲2.6	8.9	10.3	5.7	▲2.8	▲3.9	1.4	1.1	0.1	▲1.4	▲2.7	0.2	4.0	▲0.3
純輸出 (寄与度)	(1.8)	(▲0.0)	(▲0.1)	(▲0.1)	(▲0.1)	(▲0.1)	(▲0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.3)	(0.0)	(0.0)
輸出	8.1	1.9	2.3	2.4	2.5	2.5	2.6	2.7	2.8	2.8	2.8	0.4	0.5	2.7	2.7
輸入	▲2.4	2.2	2.8	3.2	3.2	3.1	2.7	2.7	2.5	2.6	2.6	0.0	▲1.1	2.6	2.7

(前年比、%)

名目GDP	0.8	1.3	1.0	1.1	1.2	1.2	1.2	1.1	1.2	1.3	1.5	2.3	1.1	1.2	1.3
GDPデフレーター	▲0.1	0.1	▲0.1	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	1.4	0.2	0.2	0.3
消費者物価 (除く生鮮)	▲0.5	▲0.2	0.2	0.5	0.6	0.8	0.9	1.0	1.0	1.1	1.1	0.0	▲0.3	0.7	1.1
鉱工業生産	0.4	1.5	3.7	3.2	2.2	1.3	1.9	1.1	0.8	0.6	0.8	▲1.0	1.0	2.1	0.8
完全失業率 (%)	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	3.3	3.1	3.0	2.9
経常収支 (兆円)	5.76	3.29	5.17	3.35	4.44	2.37	4.48	3.49	5.07	3.20	5.18	18.00	18.81	14.64	16.94
対名目GDP比 (%)	4.7	2.5	4.1	2.6	3.6	1.8	3.5	2.7	4.0	2.4	4.0	3.6	3.7	2.9	3.3
円ドル相場 (円/ドル)	102	109	112	108	109	109	110	110	111	111	112	120	108	109	111
原油輸入価格 (ドル/バレル)	46	49	51	54	57	59	60	61	62	63	64	49	47	58	63

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを基に
日本総研作成

(注)2016年12月1日公表の2016年7~9月期2次QE予測は反映せず。

海外経済の前提

(前年比、%)

	2016年	2017年	2018年
	(予測)		
米国	1.6	2.6	2.8
ユーロ圏	1.6	1.3	1.5
中国	6.7	6.5	6.4

過去の実質GDP予測値

(前年比、%)

	2016年度	2017年度	2018年度
	(予測)		
9月号	0.7	0.9	
10月号	0.8	0.9	
11月号	0.8	0.9	

物価は下落縮小へ、長期金利は新たな枠組みで概ねゼロ%に

現状

景気分析

見通し

◆物価は下落縮小から上昇へ

コアCPIは、原油安に伴うエネルギー価格の下振れを主因に、小幅下落が持続。もっとも、今後は原油価格が下落幅縮小から上昇に転じるため、物価も徐々に下落局面を脱する見通し。加えて、足許の円安基調が定着すれば、当面は輸入価格の上昇を通じて物価押し上げに寄与する見込み。ただし、国内景気や賃金上昇に弾みが見つからないとみられることから、コアCPIの騰勢は、2018年度にかけて日銀の目標を下回る緩やかなペースにとどまる見通し。

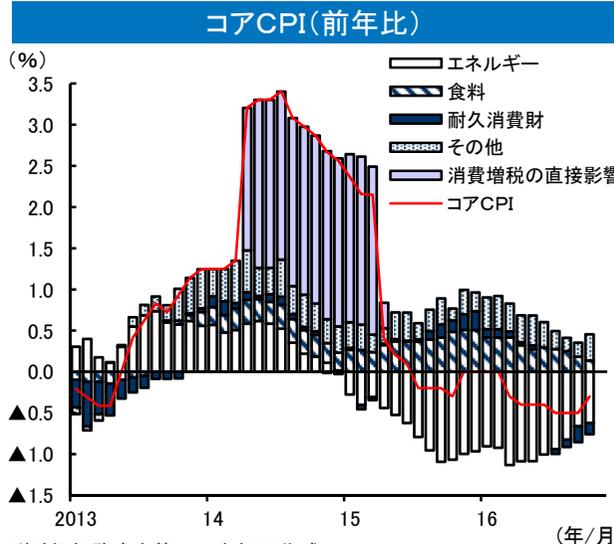
◆短期金利は現行水準を維持

日銀は、10月31日、11月1日の金融政策決定会合で、現状の金融政策の維持を決定。9月下旬に導入した新たな枠組みでの金融緩和策の影響・効果を見極める姿勢。

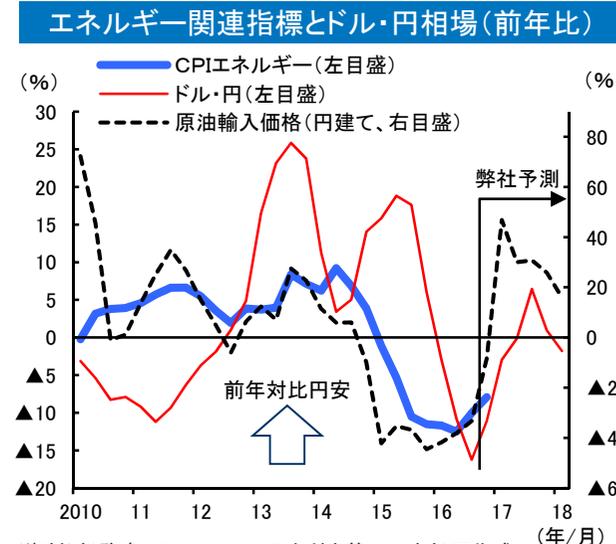
先行き、短期政策金利については、為替の円安基調が続くとみられるなか、当面は現行の金利水準（▲0.1%）を維持する見込み。

◆長期金利は概ねゼロ%程度で推移

一方、長期金利は、米長期金利の上昇を受けて上振れ圧力が高まる見込み。もっとも、日銀によるイールドカーブ・コントロール政策のもとでの国債購入が、金利上昇圧力を吸収するため、概ねゼロ%程度の水準で推移する見通し。

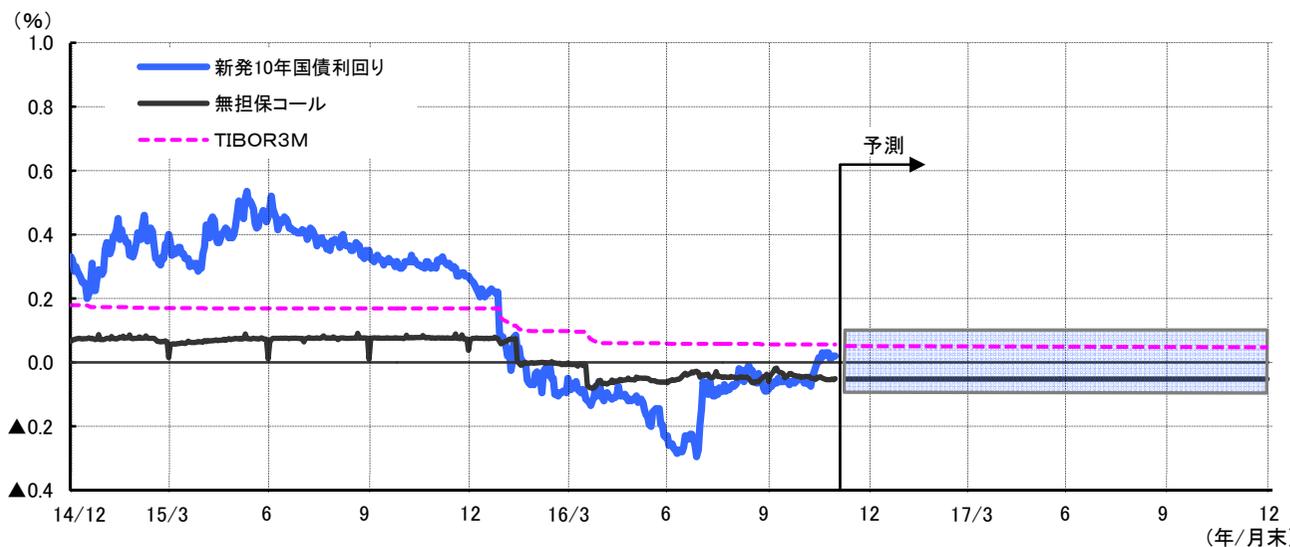


(資料)総務省を基に日本総研作成
(注)エネルギー、食料、耐久消費財などは消費税の影響を除く。



(資料)総務省、Bloomberg L.P.などを基に日本総研作成
(注)CPIエネルギーの直近は2016年10月実績値。

わが国主要金利の見通し



内外市場データ (月中平均)

	短期金利			ユーロ円 (TIBOR)			円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	FF 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)			
13/4	0.09	0.24	0.33	0.25	0.37	0.73	0.11	0.57	1.48	1.18	97.75	127.35	13224.06	1110.41	0.15	0.28	1.73	14675.91	0.21	1.25			
13/5	0.09	0.23	0.33	0.27	0.48	0.92	0.13	0.77	1.48	1.24	100.99	131.05	14532.41	1203.38	0.11	0.27	1.92	15172.18	0.20	1.37			
13/6	0.09	0.23	0.33	0.27	0.50	1.01	0.13	0.85	1.48	1.29	97.29	128.40	13106.62	1089.48	0.09	0.27	2.29	15035.75	0.21	1.62			
13/7	0.08	0.23	0.33	0.27	0.48	1.01	0.13	0.83	1.48	1.33	99.64	130.47	14317.54	1186.91	0.09	0.27	2.56	15390.21	0.22	1.63			
13/8	0.09	0.23	0.33	0.26	0.43	0.95	0.11	0.76	1.48	1.31	97.80	130.25	13726.66	1145.42	0.08	0.26	2.73	15195.35	0.23	1.80			
13/9	0.09	0.23	0.33	0.26	0.42	0.91	0.11	0.72	1.48	1.30	99.19	132.53	14372.12	1185.18	0.08	0.25	2.80	15269.84	0.22	1.93			
13/10	0.08	0.22	0.32	0.22	0.36	0.79	0.10	0.64	1.48	1.23	97.83	133.43	14329.02	1188.51	0.09	0.24	2.60	15289.29	0.23	1.81			
13/11	0.09	0.22	0.32	0.21	0.35	0.78	0.10	0.61	1.48	1.20	100.11	135.13	14931.74	1222.90	0.08	0.24	2.71	15870.83	0.22	1.72			
13/12	0.09	0.22	0.32	0.20	0.37	0.86	0.09	0.68	1.48	1.20	103.60	141.96	15655.23	1254.45	0.09	0.24	2.89	16095.77	0.27	1.85			
14/1	0.09	0.22	0.32	0.21	0.36	0.87	0.09	0.68	1.48	1.24	103.88	141.51	15578.28	1275.17	0.07	0.24	2.85	16243.72	0.29	1.80			
14/2	0.09	0.22	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.60	1.48	1.22	102.12	139.59	14617.57	1200.83	0.07	0.24	2.70	15958.44	0.29	1.66			
14/3	0.08	0.21	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.62	1.48	1.20	102.36	141.52	14694.83	1190.57	0.08	0.23	2.72	16308.63	0.31	1.59			
14/4	0.08	0.21	0.31	0.19	0.33	0.79	0.09	0.62	1.48	1.20	102.51	141.58	14475.33	1171.18	0.09	0.23	2.69	16399.50	0.33	1.53			
14/5	0.09	0.21	0.30	0.19	0.32	0.77	0.09	0.60	1.48	1.20	101.84	139.85	14343.14	1174.62	0.09	0.23	2.55	16567.25	0.33	1.40			
14/6	0.08	0.21	0.30	0.18	0.29	0.74	0.09	0.59	1.48	1.20	102.06	138.81	15131.80	1246.22	0.10	0.23	2.59	16843.75	0.24	1.35			
14/7	0.08	0.21	0.30	0.17	0.26	0.68	0.07	0.55	1.48	1.17	101.75	137.74	15379.29	1275.72	0.09	0.23	2.53	16988.26	0.21	1.20			
14/8	0.09	0.21	0.30	0.18	0.26	0.64	0.07	0.51	1.48	1.15	102.98	137.10	15358.70	1271.50	0.09	0.23	2.41	16775.15	0.19	1.02			
14/9	0.09	0.21	0.30	0.17	0.27	0.66	0.07	0.54	1.48	1.15	107.39	138.46	15948.47	1313.29	0.09	0.23	2.52	17098.13	0.10	1.00			
14/10	0.07	0.20	0.29	0.16	0.24	0.62	0.04	0.49	1.48	1.15	108.02	136.99	15394.11	1253.99	0.09	0.23	2.29	16701.87	0.08	0.88			
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79			
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.12	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64			
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.25	0.06	0.45			
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	0.04	0.38	1.48	1.12	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35			
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.75	0.03	0.26			
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16			
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58			
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83			
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76			
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67			
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.12	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68			
15/10	0.09	0.17	0.25	0.11	0.19	0.49	0.01	0.32	1.48	1.10	120.16	134.81	18374.11	1506.15	0.12	0.32	2.06	17182.28	▲ 0.05	0.55			
15/11	0.10	0.17	0.25	0.10	0.17	0.47	▲ 0.00	0.31	1.48	1.10	122.63	131.56	19581.77	1582.45	0.12	0.37	2.26	17723.77	▲ 0.09	0.55			
15/12	0.09	0.17	0.25	0.10	0.17	0.44	▲ 0.02	0.30	1.48	1.10	121.58	132.51	19202.58	1551.34	0.24	0.53	2.23	17542.85	▲ 0.13	0.60			
16/1	0.09	0.17	0.25	0.09	0.14	0.39	▲ 0.02	0.23	1.48	1.10	118.29	128.54	17302.30	1412.22	0.34	0.62	2.08	16305.25	▲ 0.15	0.51			
16/2	0.04	0.11	0.18	▲ 0.12	▲ 0.09	0.18	▲ 0.19	0.02	1.48	1.03	114.67	127.31	16346.96	1324.59	0.38	0.62	1.77	16299.90	▲ 0.18	0.23			
16/3	▲ 0.01	0.10	0.16	▲ 0.12	▲ 0.08	0.13	▲ 0.20	▲ 0.06	1.48	0.97	112.95	125.83	16897.34	1358.30	0.36	0.63	1.88	17302.14	▲ 0.23	0.22			
16/4	▲ 0.04	0.08	0.14	▲ 0.13	▲ 0.09	0.12	▲ 0.25	▲ 0.09	1.48	0.95	109.58	124.25	16543.47	1335.67	0.37	0.63	1.80	17844.37	▲ 0.25	0.18			
16/5	▲ 0.05	0.06	0.11	▲ 0.12	▲ 0.08	0.10	▲ 0.24	▲ 0.11	1.48	0.95	109.00	123.13	16612.67	1334.43	0.37	0.64	1.80	17692.32	▲ 0.26	0.16			
16/6	▲ 0.04	0.06	0.11	▲ 0.14	▲ 0.13	0.01	▲ 0.26	▲ 0.15	1.48	0.95	105.46	118.55	16068.81	1288.83	0.38	0.65	1.64	17754.87	▲ 0.27	0.01			
16/7	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.18	▲ 0.07	▲ 0.33	▲ 0.25	1.48	0.91	104.09	115.17	16168.32	1291.30	0.39	0.70	1.49	18341.18	▲ 0.30	▲ 0.09			
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.40	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07			
16/9	▲ 0.05	0.06	0.10	▲ 0.09	▲ 0.07	0.08	▲ 0.23	▲ 0.04	1.48	0.95	101.83	114.18	16737.04	1334.42	0.40	0.85	1.62	18267.40	▲ 0.30	▲ 0.05			
16/10	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.05	▲ 0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.06	1.48	0.95	103.85	114.48	17044.51	1360.45	0.40	0.88	1.75	18184.55	▲ 0.31	0.04			
16/11	▲ 0.04	0.06	0.10	0.00	0.03	0.14	▲ 0.20	▲ 0.01	1.48	0.95	108.63	117.09	17689.54	1409.47	0.41	0.91	2.15	18697.33	▲ 0.31	0.24			